

1W 減力運用の具体的な方法

1200MHz 帯レピータの多くは送信電力 10W で運用しています。この資料では、10W のレピータ装置を 1W に低減するための方法について説明します。

1) 送信電力切替スイッチのあるレピータ装置の場合

①、②の二通りの方法で 1W に低減できます。

① 切替スイッチが容易に切り替わることが無いようにスイッチガードを付加する。

○ スイッチガード部分の写真を「工事完了報告書」に貼付してください。



電力切替スイッチを 1W に切替える



スイッチガードをエポキシ接着剤等で固着

※写真はイメージです。

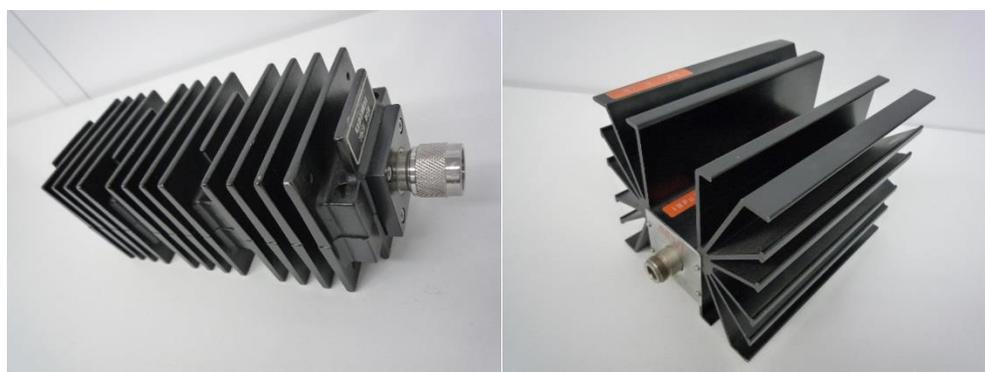
② 切替スイッチ部分の配線を変更して 10W にならないように処置する。

○ スイッチ部分の元回路と変更回路、変更後の写真を「工事完了報告書」に貼付してください。

2) 減衰器による電力低減（送信電力切替スイッチがない装置）をする場合

①、②の二通りの方法で1Wに低減できます。

- ① レピータ装置の送信部とアンテナ共用機の中に減衰器を付加する。
 - 減衰器を付加したことが分かる写真を「工事完了報告書」に貼付してください。
 - 減衰器の減衰量（dB）およびメーカー名、型番を記載してください。



10dB 減衰器の例

（10W の長時間送信に耐えられるものを使用してください）

- ② レピータ装置の送信部と送信用アンテナの間に減衰器を付加する。
 - 減衰器を付加したことが分かる写真を「工事完了報告書」に貼付してください。
 - 減衰器の減衰量（dB）およびメーカー名、型番を記載してください。

注： 挿入する減衰器は減衰量に応じた損失が確保できる長さの同軸ケーブルでも問題ありません。使用した同軸ケーブルの型番、長さ、減衰量（dB）も記載してください。

3) 回路変更による電力低減をする場合

回路変更、部品の交換変更により電力を低減してください。変更前の回路と変更後の回路図を「工事完了報告書」に貼付してください。（電力増幅部に係る部分のみで結構です。）